

2MEライブスイッチャー AV-HS6000

バージョンアップガイド

AV-HS6000のバージョンアップを行う場合は、下記の手順で行ってください。

1. ソフトウェアバージョンの確認
2. プロジェクトファイルの保存
3. メインフレームのバージョンアップ
4. コントロールパネルのバージョンアップ
5. ソフトウェアバージョンの確認
6. AV-HS6000 の初期化
7. プロジェクトファイルの読み込み

本書では、メニューパネルによるメニュー操作を記載していますが、汎用DVIモニターとマウスからも同様のメニュー操作を行うことができます。

⇒ 取扱いガイド「第4章 準備 — メニューの基本操作」参照

AV-HS6000のバージョンアップには、メモリーカードが必要です。

- メモリーカードには、200 MB以上の空き容量が必要です。
- SDXCメモリーカードには対応していません。
- メモリーカードは、あらかじめAV-HS6000でイニシャライズしたものを使用してください。

⇒ 取扱いガイド「第5章 基本操作 — ストレージ **メモリーカードの初期化**」参照

バージョンアップに関する注意事項

■ ネットワークの設定に関する注意事項

ソフトウェアバージョンがVer.3以前のAV-HS6000に対してバージョンアップを行うと、以下の設定が初期化されます。

- <SYS> ボタン→ [SYSTEM] → [Network] タブ→ [Network1] コラムの設定
- <SYS> ボタン→ [SYSTEM] → [Network] タブ→ [Network2] コラムの設定
- <SYS> ボタン→ [CTRL PANEL] → [SubPanel1] タブ→ [Network] コラムの設定
- <SYS> ボタン→ [CTRL PANEL] → [SubPanel2] タブ→ [Network] コラムの設定

上記の設定は、プロジェクトファイルに保存されません。

バージョンアップを行う前にこれらの設定内容を予めメモしておき、バージョンアップを行った後に改めて設定し直してください。

■ マクロデータの互換性に関する注意事項

<SYS> ボタンを押してからのメニュー操作と<CONF> ボタンを押してからのメニュー操作が記録されたマクロデータは、バージョンアップを行うと正しく再生されない場合があります。

該当する操作を記録したマクロレジスタメモリーは、バージョンアップを行った後に削除し、改めて操作を行って登録し直してください。

また、ソフトウェアバージョンをVer.2からVer.3にバージョンアップする場合には、<SYS> ボタンを押してからのメニュー操作と<CONF> ボタンを押してからのメニュー操作以外にも、マクロデータの互換性が失われる操作があります。

詳しくは、「付録. Ver.2からVer.3へバージョンアップするときの注意事項」(5ページ)をご参照ください。

1. ソフトウェアバージョンの確認

AV-HS6000のソフトウェアバージョンを確認します。

- 1 メニューパネルの左側にある<SYS> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [MAINTENANCE] → [Status] タブを選択する
- [System Version] コラムの [System Version] 項目にAV-HS6000のシステムバージョンが表示されます。

2. プロジェクトファイルの保存

ソフトウェアのバージョンアップを行った後は、AV-HS6000を初期化する必要があります。このため、バージョンアップを行う前に、現在の設定データやメモリーの内容を保存しておきます。

- 1 AV-HS6000 でイニシャライズを行ったメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入する
- 2 メニューパネルの左側にある<PRJ> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [PROJECT] → [SD/SSD] タブを選択する
- 3 [SD] コラムの [Save] を選択する
[Save] 画面が表示されます。
保存する項目を選択してください。
- 4 [OK] を選択する
メモリーカードの空き領域に、プロジェクトファイルが保存されます。

- プロジェクトファイルを保存するには、しばらく時間がかかります。完了するまでは、下記の操作を行わないでください。

- メモリーカードを抜く
- AV-HS6000のメインフレームやコントロールパネルの電源を切る

3. メインフレームのバージョンアップ

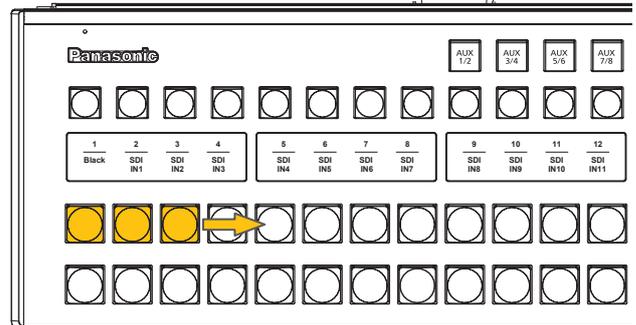
メインフレームのソフトウェアをバージョンアップします。

- 1 ダウンロードしたファイルを解凍する
 - 以下のフォルダーが作成されます。
HS\HS6000\UPDATE\
このフォルダーの中のファイル (拡張子 .60d) がバージョンアップファイルです。
- 2 解凍したフォルダ構成のまま、メモリーカードに保存する
 - AV-HS6000 でイニシャライズしたメモリーカードに保存してください。
「2. プロジェクトファイルの保存」で使用したメモリーカードを使うこともできます。

- 3 コンピューターからメモリーカードを抜き、AV-HS6000のメモリーカードスロットにメモリーカードを挿入する
 - 4 メニューパネルの左側にある<SYS> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [MAINTENANCE] → [Status] タブを選択する
 - 5 [Update] コラムの [Update File] を選択する
ファイル選択画面で、バージョンアップファイルを選択します。
 - 6 [OK] を選択してバージョンアップを開始する
バージョンアップを開始するとプログレスバーが含まれているダイアログを表示します。
- 完了するまでは、下記の操作を行わないでください。

- メモリーカードを抜く
- AV-HS6000のメインフレームやコントロールパネルの電源を切る

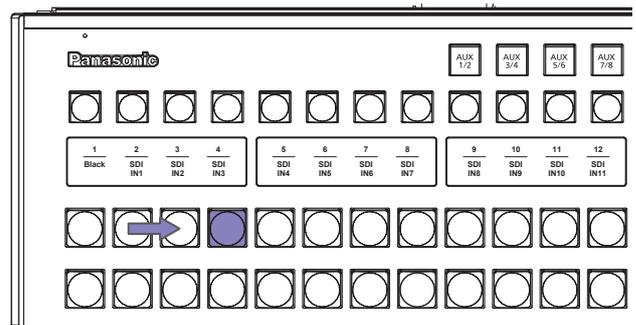
まず、メモリーカードからメインフレームへ、バージョンアップデータの転送を行います。
データの転送中は、奥側のME列に属するPGM/Aバスクロスポイントボタンが、左から順に右方向へ点灯していきます。



- バージョンアップデータの転送には、1分程度の時間を要します。

転送が完了すると、自動的にメインフレームのバージョンアップを開始します。

メインフレームのバージョンアップを開始すると、奥側のME列に属するPGM/Aバスクロスポイントボタンが、左から右へ繰り返し点滅します。



- バージョンアップには、2分程度の時間を要します。

メインフレームのバージョンアップの処理が完了すると、「Complete.」ダイアログを表示します。これでメインフレームのバージョンアップが完了します。

7 “Complete.”ダイアログを閉じ、メインフレームとコントロールパネルの電源を〈OFF〉にする

4. コントロールパネルのバージョンアップ

以下の操作を行うと、メインフレームからバージョンアップデータが転送され、コントロールパネルがバージョンアップされます。

注意事項：

- メインフレームの〈LAN〉端子には、バージョンアップの対象としているコントロールパネル以外を接続しないでください。

外部機器などを接続している場合は、電源を切るか LAN ケーブルを抜いてください。

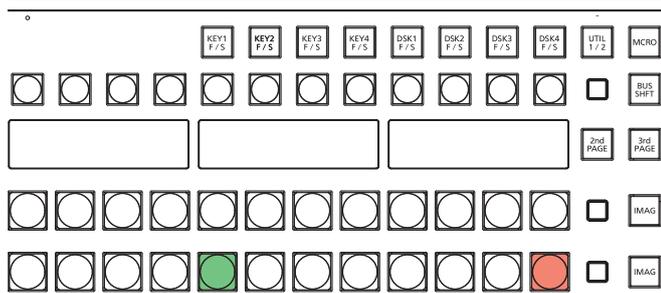
- コントロールパネルのバージョンアップは 1 台ずつ行ってください。

以下に示す手順 1～3 は、メインコントロールパネル、サブコントロールパネル 1、サブコントロールパネル 2 それぞれ単独に行ってください。

このとき、バージョンアップを行っているコントロールパネル以外は、電源を切るか LAN ケーブルを抜いてください。

1 メインフレームと、バージョンアップするコントロールパネルの電源を入れる

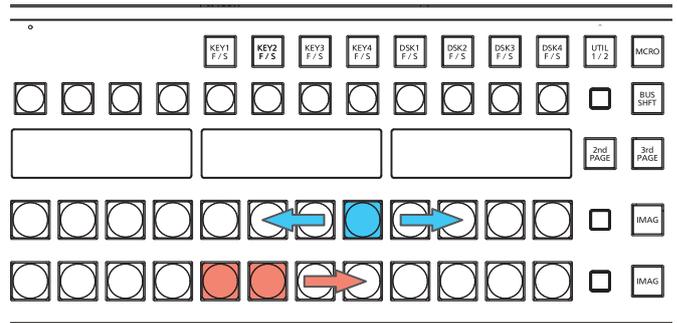
電源を入れて、約 20 秒経過すると、コントロールパネルが以下の状態になります。



- 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 2 つが点滅します。
1 つが緑色で点滅し、もう一つは赤色で点滅します。

2 赤色に点滅しているボタンを押す

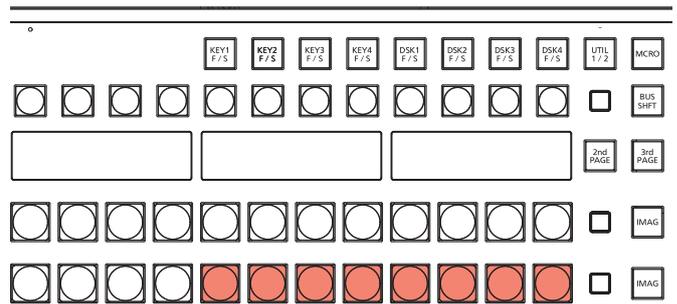
コントロールパネルのファームウェアのバージョンアップが開始され、以下の状態になります。



- 手前側の ME 列に属する PGM/A バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、青色で左右に繰り返し点滅します。
- 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、赤色で左から右へ順番に点灯していきます。

この状態のときに、メインフレームとコントロールパネルの電源を切らないでください。

約 2 分経過すると、コントロールパネルのファームウェアの更新が完了し、以下の状態になります。



- 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、赤色で点滅したままの状態になります。

3 メインフレームとコントロールパネルの電源を切る

- コントロールパネルを 1 台だけ接続しているシステムでは、次の「5. ソフトウェアバージョンの確認」へ進んでください。
- コントロールパネルを 2 台以上接続しているシステムでは、接続しているコントロールパネル全てについて手順 1～3 を行った後、「5. ソフトウェアバージョンの確認」へ進んでください。

5. ソフトウェアバージョンの確認

- 1 メインフレームとコントロールパネルの電源を入れる
複数のコントロールパネルを接続しているときは、すべての電源を入れます。
- 2 メニューパネルの左側にある <SYS> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [MAINTENANCE] → [Status] タブを選択する
[System Version] コラムの [System Version] 項目に、AV-HS6000 のシステムバージョンが表示されます。

ご希望のバージョンに更新されていることを確認してください。

6. AV-HS6000 の初期化

AV-HS6000 の設定データを初期化します。

- 1 メニューパネルの左側にある <SYS> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [MAINTENANCE] → [Boot] タブを選択する
- 2 [Initial] コラムの [Initial] を選択する
- 3 確認画面で、「OK」を選択する
初期化を開始します。
初期化が完了すると、ダイアログが自動で閉じます。

7. プロジェクトファイルの読み込み

バージョンアップを行う前に保存したプロジェクトファイルを読み込みます。

- 1 プロジェクトファイルが保存されているメモリーカードを AV-HS6000 のメモリーカードスロットに挿入する
 - 2 メニューパネルの左側にある <PRJ> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [PROJECT] → [SD/SSD] タブを選択する
 - 3 [SD] コラムの [LOAD] を選択する
[LOAD] 画面が表示されます。
読み込むプロジェクトファイルを選択してください。
 - 4 [OK] を選択する
メモリーカードからプロジェクトファイルを読み込みます。
- 完了するまでは、下記の操作を行わないでください。

- メモリーカードを抜く
- AV-HS6000 のメインフレームやコントロールパネルの電源を切る

- 読み込みが完了すると、ダイアログが自動で閉じます。
読み込んだ設定が AV-HS6000 に反映されていることを確認してください。
- AV-HS6000 にプラグインソフトウェアをインストールしている場合は、以下の操作も行ってください。

- 1 メニューパネルの左側にある <PLUG IN> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [Configuration] タブを選択する
- 2 起動するプラグインソフトウェアに対して、[Enable on boot] 項目を [On] に設定する
- 3 メインフレームの電源を切り、再度電源を入れる

以上で、AV-HS6000 のソフトウェアをバージョンアップする作業は完了です。

付録. Ver.2 から Ver.3 へバージョンアップするときの注意事項

ソフトウェアバージョンが Ver.2 (Ver2.xx-xx-x.xx) の AV-HS6000 に保存したマクロレジスタメモリーを、バージョンアップして Ver.3 (Ver3.xx-xx-x.xx) になった AV-HS6000 で再生すると、記録されていた操作によっては、正しく再生されない場合があります。

次に示す「Ver.2 と Ver.3 との間でマクロデータの互換性が無い操作」は、記録されたマクロイベントまでの再生を行います。次のマクロイベントへの再生に移りません。

また、メニューパネル (AV-HS60C3) 上部の [MACRO] インジケーターは、緑色に点灯したままの状態になります。

このとき、マクロメモリーを含むプロジェクトファイルを読み込むことはできません。

プロジェクトファイルを読み込むときは、<MEM> ボタン → [MACRO] → [Macro] タブ → [Status] コラム → [Play Cancel] ボタンを押し、再生状態を解除してから操作を行ってください。

上記のような状態になるのを回避するには、Ver.3 になった AV-HS6000 で Ver.2 のときと同様の操作を行って、マクロレジスタメモリーに改めて登録し直してください。

■ Ver.2 と Ver.3 との間でマクロデータの互換性が無い操作

<メニューの操作>

トップメニュー	ファンクションメニュー	メニュータブ	コラム	項目
<ME1>/<ME2>	[KEY1], [KEY2], [KEY3], [KEY4]	[Chroma]	[Auto Compute]	[Auto Compute], [Reset]
			[Sample]	[Undo]
			[Sample Area]	[Sampling]
<MEM>	[STILL]	[Still]	[Rec1]	[Rec]
		[Register]	[Register]/[SD]	[Recall], [Store], [Misc]
	[CLIP]	[Play Clip1], [Play Clip2], [Play Clip3], [Play Clip4]	[SD]	[Create Thumbnail]
			[Play1]	[Play], [Pause], [Stop], [<<Lead], [>>Last]
			[Play2]	[<Step], [>Step]
		[Edit]	[Trim In], [Trim Out], [Trim In CLR], [Trim Out CLR], [Get Thumbnail]	
		[Rec]	[Rec1]	[Rec], [Stop]
		[Register]	[Register]/[SD]	[Recall], [Store], [Misc]
	[SHOT MEMORY]	[Register]	[SD]	[Create Thumbnail]
			[Register]	[Recall], [Store], [Misc]
	[EVENT MEMORY]	[Edit]	[Register]	[Recall], [Store], [Misc]
			[Control1]	[<<Lead], [<Step], [>Step], [>>Last]
			[Control2]	[Play], [Pause]
[Edit1]			[New], [Insert], [Delete], [Modify], [Undo]	
	[Edit2]	[Copy], [Paste], [Execute]		
	[Register]	[Register]	[Recall], [Store], [Misc]	

<マルチセレクトパネルの操作>

トップメニュー	操作
<SHOT MEM>	<ul style="list-style-type: none"> ● レジスタメモリーの再生、登録、削除
<EVENT MEM>	<ul style="list-style-type: none"> ● レジスタメモリーの再生
<VMEM>	<ul style="list-style-type: none"> ● レジスタメモリーの再生、登録、削除 ● 静止画 (STILL) の [REC] ● 動画 (CLIP) の [REC]、[PLAY]、[STOP]、[LEAD]、[LAST]、[PAUSE]